

議会広報広聴委員会記録

令和5年9月15日（金）
13時30分～14時33分
全員協議会室

【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主事

議題

1 第3回はまだ市民一日議会について……………資料1

- (1) 発言者確定
- (2) 送付物の確認
- (3) その他

2 はまだ議会だよりminiについて……………資料2

- (1) 第25号掲載内容及び原稿担当
- (2) その他

3 その他

- (1) はまだ協働学舎ファンタスから大学生との意見交換会についての依頼
- (2) 申し送り事項

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 30 分 開議]

○三浦委員長

議会広報広聴委員会を始める。出席委員は9名で定足数に達している。川上委員が欠席である。議題に沿って進めるが本日の議題はその他を含め3項目となっている。

1 第3回はまだ市民一日議会について

(1) 発言者確定

○三浦委員長

最初に発言者の確定をしていきたい。応募状況含めて説明をお願いする。

○村山書記

配信資料を見てほしい。締切日9月11日月曜日の夕方17時時点で14件の応募があった。受付番号10番の方は2度目になる。当初10名を超えた場合は抽選としており、初めての方優先としているので、2度目の方を除いた13名について抽選準備をしているが、このまま進めて良いか確認をお願いする。また、配信資料の申込受付表には氏名が載っているが、本日は氏名は言わず申込み順にナンバーを振っているの、申込みナンバーで話を進めていただきたい。

○三浦委員長

説明があったように13名の方を対象に抽選し、10名を選ぶということで良いか。

○大谷委員

事務局から説明があったこと以外に優先すべきことがなかったか。

○三浦委員長

あるか。

○村山書記

特にない。

○大谷委員

気持ち的には若い方を優先したいが、要件に入っていないということか。

○三浦委員長

入っていない。

○大谷委員

了解した。

○三浦委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

では抽選に移る。

○村山書記

抽選の流れについて説明したい。抽選器はあちらに用意している。1番から9番と、

11番から14番と書いてある玉があるので、それを副委員長に抽選器へ入れてもらい、抽選器を回すのは委員長にお願いします。玉の読み上げは副委員長にお願いします。玉が10個出た後に副委員長に抽選器の中身を再度確認いただく。最後に決定した発言者の申込み番号を委員長に読み上げてもらいたい。抽選で出た順番を発言順としたい。

○三浦委員長

では抽選に移る。

(抽選)

○三浦委員長

では読み上げる。

- 1番 応募ナンバー6番
- 2番 応募ナンバー12番
- 3番 応募ナンバー2番
- 4番 応募ナンバー8番
- 5番 応募ナンバー9番
- 6番 応募ナンバー4番
- 7番 応募ナンバー13番
- 8番 応募ナンバー7番
- 9番 応募ナンバー11番
- 10番 応募ナンバー1番

以上となる。3名の方は残念ながら今回発言機会が持てなかったが、また次回以降応募いただければと思う。抽選は以上とする。

(2) 送付物の確認

○三浦委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○三浦委員長

今の説明について何か質問等があるか。

○大谷委員

前回は比較して変わっている点があるか。

○村山書記

前回と比較して変わっている点は3ページ目、今回初めて2回目の方が出たので、3ページ目のものについてはこのたび作成している。それ以外はない。

○三浦委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(3) その他

○三浦委員長

その他、皆からあるか。1点、応募ナンバー9の方々、複数人で発言したいと申し出がある。皆に確認しておいてもらいたい。

○川神委員

そういったケースを想定した議論は今まであったか。

○三浦委員長

複数での発言はなかったかと思う。今回いずれの方も初めての発言者で、同じ項目について3名の連名でエントリーされている。一応、これまで児童などの応募があった場合にサポートとして保護者等の登壇を可能としており、複数人での登壇を妨げることはしていない。今回恐らく3人で分割して話をされるのだと思うが、ご本人たちにまだ確認してないので分からない。

○川神委員

今後はそういうことが起こる前提となる。また、これが5人でも6人でも当然可能という扱いになるという感覚で良いか。

○三浦委員長

一つのテーマについてグループという形で出られると認識している。それが5人なのか10人なのか、人数の制限はどのように掛けるのかという議論はまた別にあるかもしれないが、同様の応募があれば妨げないということになると思う。

○川神委員

その中に以前発言した方がおり、新たに複数人でチームを組んで出てこられるケースも想定できるが、初めての申込みとして容認するか。

○三浦委員長

仮にその中に過去に発言された方がおられる場合、それでも今までのルールだと、2回目、3回目と見なされるのではと思う。あくまで初めての方を優先するという基本的なルールはあるかと思う。確かにテーマも変わって、ほかにも発言される方がいて、その中に一人、過去に発言された方がおられることも想定はされるが、基本的には初めて発言される方を優先的に進めることがベースにあると思う。

○川神委員

それはこの委員会の中で一つのルールを定めれば良いと思う。あくまでも個人の人格で出てくるイメージだったので、複数人というのは、それがいけないというのではなく自分の中に感覚がなかった。

○小寺書記

補足したい。現在ホームページに申込みに関する注意事項として、「未成年の方が発言される場合、保護者の方なども一緒に登壇していただける」とあり、もともと第1回のときから想定して取り決めている。未成年の場合に保護者の方など、ということなので、保護者でも良いし先生でも良いという想定だったと思う。仮に今回は同じ年代の方ということなので、そこが入ってくるかということだとは思う。これが

一般の方、成人している方だったときにどうかというのは、また別の話になってくるかと思うが、未成年の方が発言される場合はどなたかが一緒に登壇して、発言するかしないかは、また別になってくるが。

○三浦委員長

先ほど川神委員が言われたように、基本的には個人の意思発言の場だと思っているので、それが複数になったときにどのように考えるかはこの際協議いただき、今後開催が続けば想定されることなので、意見をいただければと思う。

○大谷委員

基本的には発言者は一人だと私も認識している。ただ今回は、そういったルール決めない中に出てきたということで、今回については致し方ないということで出て良いとは思いますが、終わった後に再評価する中で、仮に次回に向けての論議があれば論議したい。個人的には発言者は一人だろうと思う。というのも、発言時間はそれほど長くないので、その中で細切れに発言されても理解しづらい面もあるかと思う。そう考えると発言者は一人が望ましいかと思う。

○三浦委員長

ほかの方はどう思われるか、意見をお願いします。

○川神委員

ルールで未成年に保護者や先生が付くというのは前から話していることなので問題ないと思う。今回の3名が同じようなジャンルの方ばかりになった場合は、できれば個人の責任と名前が出てくるのが望ましい。先生などの立場の方が補助的に付くのはありだと思うが、対等の立場で発言していくのは、やはり。それなら同じ項目でも良いから個別に出てくれば良い。

○三浦委員長

暫時休憩する。

[13 時 49 分 休憩]

[13 時 57 分 再開]

○三浦委員長

委員会を再開する。複数人の発言について皆から少し意見をいただいたが、今回は複数人で発言することに対するルールを詳細に決めてなかったので、今回の場合には該当する方々が初回発言者であることもあり、エントリーは引き続き認める形にするが、今後ともはまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）が開催されることがあれば、それに向けてきちんとルール化していくということでまとめさせてもらっても良いか。

(「はい」という声あり)

はい。ではそのようにさせていただく。ほかに市民一日議会について何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第25号掲載内容及び原稿担当

○三浦委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○三浦委員長

では掲載項目を2項目決めたいが、いかがか。提案として議会運営委員会の中での委員会の所管見直しについて申し送りして継続して議論していくという件と、議会改革推進特別委員会にてICTの活用についてLINE WORKSを今後使っていくことが出されているので、タイムリーな話としてはこのあたりが良いのではと思うがどうか。意見が特になければその2項目で。

○大谷委員

単に論議しているくらいのアナウンスなら良いが、どうなるか分からないことについてあまり詳しくお知らせするのは難しいのでは。

○三浦委員長

具体的にはどれを指しているか。

○大谷委員

見直しの件は論議していくということではあるが、どうなるかはいろいろあるではないか。

○三浦委員長

それを議論しているということを掲載する。しかも議会運営委員会で申し送りが決定した事項なので、引き続きの議論としては重い案件としてニュースバリューはある記事内容だと私は思うが。

○大谷委員

その事実を示す部分については、それは決まっていることなので良いとは思いますが。

○三浦委員長

もちろん、議論が詰まってないことを何か想定して書くことはできないので、事実に基づいて今の状況をお知らせする。それはそれ以上でもそれ以下でもないと思う。もしほかにもっと適切な項目があれば、提案いただければそれでも結構だが。

○小川委員

議会改革推進特別委員会のほうでICTの件があったが、V o 1 . 71の本紙の委員会活動レポートにて同じ内容を掲載する可能性がある。

○三浦委員長

では議会改革推進特別委員会は本紙で掲載するというので、項目を見直そう。ほかに各委員会から提案があれば、それを採用させていただきたいがどうか。ちなみに今度の本紙のほうで、各委員会レポートの内容はどのようになっているか。議会改革推進特別委員会はICTの活用を想定。協働のまちづくり推進特別委員会はどうか。

○村武副委員長

提言に向けて議論している。まとめている途中。

○三浦委員長

3常任委員会はどうか。総務文教委員会は提言したということが入るだろう。福祉環境委員会はどうか。提言と視察が入りそう。産業建設委員会は、建議書の提出。ではそれぞれ、そのあたりは本紙で書くということであれば別の活動になる。市民一日議会の発言内容などは12月に載るのだったか。載らないか、その先になってしまうのか。開催速報などはぎりぎり間に合う。そうすると議会広報広聴委員会で市民一日議会の終わった速報を書くか。大谷委員、議会運営委員会の先ほどの件は載せても良いか。変えたほうが良ければ提案をいただければ。ただいずれにせよ、議会運営委員会の委員会レポートはどこかで載るとは思うが。

○大谷委員

本紙に載せ切れないものはないのか。載せ切れないものがあればminiにという発想はあると思う。そのあたりもう少し検討した上で、より良い広報になれば。

○三浦委員長

皆、何かあるか。

○沖田委員

確か9月定例会議の議会運営委員会の担当は自分だったかと思う。そうしたら2年間の総括を書いたときに、傍聴規程など、今までの実績を書こうかと思う。今回、所管委員会の見直しは恐らく触れない。全然別の話で、これからの申し送り事項でもあるので。それはいつになるか分からないが、決まったときに考えることで。取りあえず今の段階では書かないつもりなので、逆にminiでそれを紹介するのもありかと思いつながり聞いていた。

○三浦委員長

今度の本紙は2年間の振り返りにも触れてもらうようなオーダーになるので、提言を出したことに加えて、2年間の活動の振り返りみたいなことも、スペースにかなり限りはあると思うが、書いていただくような形にはなるかと思う。では議会運営委員会の件にしようか。

○大谷委員

本紙のほうもどれにしようか考えているところで。そのためにこれを上げるからこれは後にする、ではそれはminiにでも載せてくれという段にまだなっていない。だから案が出せないのだが。要は市民に議会として伝えたい案件を優先し、かつ議会として活動していることを話すという流れの優先順位の中で、今上がっているようなことがなければ最終的に出てきた提案でも良いかと思う。そのためにも、より伝えておきたい事柄があるかないか考えてみたかったので話を持ち出したのだが、ほかに皆から提案がないなら、今の提案でも良いと思う。

○三浦委員長

皆から提案はあるか。

(「なし」という声あり)

では、議会運営委員会の委員会所管の見直しの状況と、当委員会の市民一日議会が終わった後のお礼を含めての速報ということで、2項目記事をお願いしたい。それぞれ担当してくれる方はいないか。

○沖田委員

議会運営委員会は自分が担当する。

○三浦委員長

市民一日議会をどなたか担当してくれる方はいないか。

○肥後委員

はい。

○三浦委員長

では沖田委員と肥後委員にお願いする。あとは議員のつぶやきをどなたか。

○小川委員

振り返りという事で担当しようと思う。

○三浦委員長

では皆1回は担当したということで、達成した。協力に感謝する。ではminiはそのように進めていきたい。

(2) その他

○三浦委員長

miniについてその他、皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

(1) はまだ協働学舎ファンタスから大学生との意見交換会についての依頼

○三浦委員長

私から説明したい。昨年当委員会で、県立大学との共同研究の一環で大学生との意見交換の場を持たせてもらったかと思う。それを受けてファンタスから同様に今年されないのかと、まず問い掛けがあった。去年は共同研究の一環だったので継続しての企画は今のところないと一旦お戻ししたのだが、ぜひゼミに限らず大学生との意見交換の場を持ってほしいと相談があった。昨年当委員会で担当していたので、一旦この委員会で預かって皆に諮り、今後の進め方について協議できたらと思っている。時期的にもう9月半ばで、実施するにしても10月以降、11月などになれば委員会構成が変わった後になるかもしれないが、一応委員会としての意向を先方に戻してあげる必要があるのでは、皆から意見を賜りたい。いかがだろうか。

○川神委員

それは議会広報広聴委員会と大学生との意見交換会という認識か。

○三浦委員長

説明不足だった。昨年も全議員に声掛けさせていただき、窓口はこの委員会だったが全議員が対象だった。したがって相談は一旦ここで受けているが、もちろん全議員対象で参加を募ろうと想定している。実施するかしないか、どのように進めるかも含めて協議ができたらと思う。

○川神委員

先般、議長も県大に出向いてそこで今後、浜田市が県立大学と協定を結んでいるが、議会とはどうなのかという話を多分された。そこで今後の大学生と市議会との交流や、いろいろな話が出たと思う。昨年の形が良いかどうかは別として、そのようなオファーがあるなら議員全員にアナウンスして意見交換会は積極的にやるべきだと思う。

○三浦委員長

ほかにはどうか。

○大谷委員

意見交換することは良いと思うが、それは議会広報広聴委員会の役割として今後やっていくことを想定しているか。

○三浦委員長

この委員会の目的は広報広聴を行うことなので、広聴を行うという目的に一致していると思うので、相談をこの委員会で受けるのは我々の所管する範疇だと思う。ただ今後、川神委員も先ほど言われたが、今後も全議員対象という形で進めていくとしたらどういう窓口でやっていくかは一考の余地があると思う。基本的には議会広報広聴委員会で受けても全く問題ない案件だとは思う。結局はどこが窓口になるかの話。

○大谷委員

やはり議会なので、まとまって同じ認識でやっていかないと。あそこはやっているがこちらには情報が入ってこないということでは当然いけない。どのような仕組みでやっていくかは協議しながらも、全員に案内しながらできる人が最終的にやるのは仕方ないと思うが、全員が関わるような枠組みで進行していくのが良いと思う。

○三浦委員長

おっしゃるとおりだと思う。市民一日議会も議会で行き組むことなので、ここでルールなど詳細は協議しているが、あくまで議会全体のことなので全員協議会の場で全議員に対して理解をいただくような機会を設けながら進めている。こういったことも同じようなプロセスを取りながら進めていくのが良いのではと私も思っている。

○川神委員

この委員会、全ての委員会から出ているので、ここで協議して例えば委員会に関係するものを持ち帰ることもできる。先ほど委員長も言ったように、全議員で同じ方向を向いて取り組むのは大事なことなので、どこが窓口を持つのか、どこが受け皿になるのか、そういう意味では議会広報広聴委員会が一番収まりが良いだろうと思う。やるならまずはここが受け皿になり、全ての議員に情報発信する流れで良いのではないかと思う。

○小川委員

委員長からファンタスの関係をいろいろ報告されたのだが、実際私もあまり直接ファンタスの活動とかみ合っていないのだが、昨年ここでやったものは共同研究の位置付けでされたのか。その窓口が直接県立大学だったのが、今度はファンタスへ移行して、そこが今度は窓口になり議会広報広聴委員会と調整しながら進めていく形に変わったという理解で良いか。

○三浦委員長

昨年は県立大学の光延ゼミが対象で、光延ゼミと我々が一緒に活動しようと協議を進めていたので、基本的には光延先生が声を掛けた学生などが中心だったため、まず大学全体でという話ではなかったことと、今回はその活動を見たファンタスが、今年も大学生を対象に議会との意見交換の場はないのかという純粋な問い掛けで。あくまで任意団体なので、県立大学ではない。その活動に大学生が何人か加わっているので、その学生を中心にほかの学生にも声を掛け、ゼミという枠組みではなく自由に参加できるような、もう少し広い対象者でできないかと。別個のものと捉えていただくと良いかと思うが、大学生と議会との意見交換の場としては同じようなスタイルではある。

○小川委員

昨年やった光延先生のゼミ独自の活動は今年度以降ないのなら、その機能がそのままファンタスに移行されて、問題意識がそこに伝わってそこを中心とする形態で今後進めようということなら分かる気がする。その理解で良いか。

○三浦委員長

結構かと思う。ただ、今言われたように、昨年光延ゼミとも一緒にそういう活動をさせてもらったので、実施するとなれば経緯も含めて昨年度に参加してくれた方や光延ゼミにも、今回大学生側からリクエストがあったのでオープンでやりたいのだと、協力を求めるような働き掛けはしても良いかと思う。

○大谷委員

ファンタスというのは光延先生のゼミとメンバーは重なるが違うものか。

○三浦委員長

ファンタスに関わっている大学生のうち、何人が光延ゼミにいるかは僕も把握していないが、全くそこは別個のものである。ただ去年大学生との意見交換をゼミ単位でやっていたが、もう少し広くそういうのができないかというリクエストが別団体からあったということである。

○大谷委員

議会として動くが分担の意味合いで委員会として動くときに、議会だ委員会だと、相手方はある種の団体として認められた者が対応するが、個人と議会・委員会として対応するということは、ありなのか。要はそうやっていくとどんどん増えていってしまう余地もあると思って。どこまで相手として対応するのも気になったところだが。

○三浦委員長

個人からの要望をどうするかだが、今回の場合は、ファンタスは団体だしまちなか交流プラザの管理を受けている団体なので、市とも関係を持っている。そういった意味合いでは、申入れに応えるべく前向きに検討していくにももちろん値する団体だと思う。それはその都度、申入れ内容や状況に応じてそれぞれ委員会側が検討していくべき事項ではないかと思う。

ほかにあるか。では議会広報広聴委員会でどのように実施していくか、先方と我々が窓口になり協議を進めていく方向で良いか。

(「異議なし」という声あり)

では、まずは正副委員長で一旦、先方からの状況をもう少し詳しく説明を伺い、こちらの今日の見解も先方に伝えて進めていきたい。

(2) 申し送り事項

○三浦委員長

11月に委員会構成が変わるので、引き継ぐ意味合いでこの委員会での検討が引き続いて行われているもの等々、申し送るべき事項があれば皆から出していただきたい。今配信されたのは。

○村山書記

2年前の事項を参考までに配信した。

○三浦委員長

前は議会だよりの紙面について、新しい項目を採用したのでそれについて改善を図りながら進めてほしいということをして1項目目とした。2項目目は議会報告会。ちょうどコロナだったのでやり方を工夫しながら進めてきたが、方法について引き続き検討してもらいたいということ。それから市民一日議会のことで、ルールを整理しなければいけないことがあったのでそのこと。あとは地域協議会との意見交換会。それからホームページの状況。具体的な検討に至らなかったものでどういったものが適切か引き続き検討してほしいというような項目だった。一応こういったことを申し送り事項として上げた。次の委員会に対して同様に、皆から申し送り事項として要望があれば、次の委員会のときにでも出してもらえれば。これを参考にして検討をよろしく願います。

もう一つ、ぎかいポストの件がある。

○村山書記

ぎかいポストの関係で、総務文教委員会で意見が出たと聞いている。今は内容だけしかなく、年齢などを加えて、どういった層から意見が出ているかが知れたほうが良いのではという意見があったので、この場を借りて協議いただければと思う。

○三浦委員長

先ほどの総務文教委員会で大谷委員から提案があった。ぎかいポストの投稿は今、匿名で書かれている状況で、どういった方からの意見かが分からないので、年齢や場合によっては名前などを書いてもらったほうが良いのではないかという意見である。

ぎかいポストに投函してもらった意見書の内容についても協議の時間を、また次回にでも持たせてもらいたい。場合によってはそれも申し送り事項になるかもしれないが、協議事項として要望を承っているのだから、これも扱っていききたい。

その他、皆からあるか。

(「なし」という声あり)

では次回の委員会日程の確認を村山書記からお願いします。

○村山書記

10月16日から19日とさせてもらっているが、諸事情の関係で13日の13時からさせていただければと思うがどうか。

○三浦委員長

10月13日金曜日、13時から。どうだろうか。大丈夫か。

(「はい」という声あり)

13時でよろしくをお願いします。先ほどのアンケート用紙の件だが、年齢や性別などは記載しなくて良いのではないかと、項目について1回委員会で議論した経緯もあるので、それでやる中でやはりあったほうが良いのではないかと問題提起かと思う。それも踏まえて皆から改めて意見を伺って、どのようなアンケート用紙が良いのか協議したい。ぜひ意見をまとめてきてほしい。

以上で議会広報広聴委員会を終わりたい。

[14 時 33 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦大紀